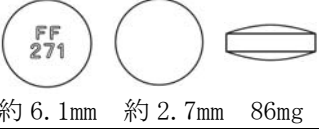
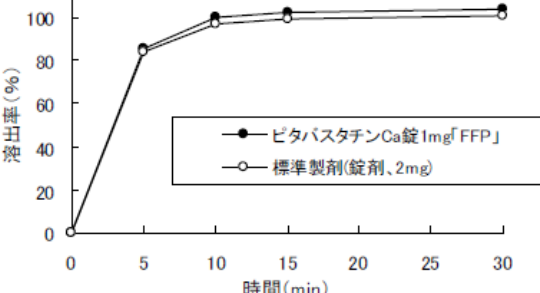


## 標準製剤との対比表

	後発品		標準製剤		
販売名	日本薬局方 ピタバスタチンカルシウム錠 ピタバスタチンCa錠1mg「FFP」		日本薬局方 ピタバスタチンカルシウム錠 リバロ錠1mg		
販売元 (製造販売元)	共創未来ファーマ株式会社				
成分・含量	1錠中ピタバスタチンカルシウム水和物1.1mg(ピタバスタチンカルシウムとして1mg)を含有				
薬効分類	HMG-CoA還元酵素阻害剤				
薬価	16.30円/錠		49.40円/錠		
薬価差	33.10円/錠				
効能・効果	標準製剤と同一	1.高コレステロール血症 2.家族性高コレステロール血症			
用法・用量	標準製剤と同一	1.通常、成人にはピタバスタチンカルシウムとして1~2mgを1日1回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減し、LDL-コレステロール値の低下が不十分な場合には増量できるが、最大投与量は1日4mgまでとする。 2.成人：通常、成人にはピタバスタチンカルシウムとして1~2mgを1日1回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減し、LDL-コレステロール値の低下が不十分な場合には増量できるが、最大投与量は1日4mgまでとする。 小児：通常、10歳以上の小児にはピタバスタチンカルシウムとして1mgを1日1回経口投与する。なお、症状により適宜増減し、LDL-コレステロール値の低下が不十分な場合には増量できるが、最大投与量は1日2mgまでとする。			
添加物	乳糖水和物、酸化チタン、低置換度ヒドロキシプロピルセルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、タルク、クエン酸トリエチル、カルナウバロウ及びその他1成分		乳糖水和物、低置換度ヒドロキシプロピルセルロース、ヒプロメロース、メタケイ酸アルミン酸マグネシウム、ステアリン酸マグネシウム、クエン酸トリエチル、含水二酸化ケイ素、酸化チタン、カルナウバロウ		
製剤	販売名	外観(直径, 厚さ, 重量)		性状	識別コード
	ピタバスタチンCa錠1mg「FFP」	 約6.1mm 約2.7mm 86mg		白色のフィルムコーティング錠	FF 271
標準製剤	1mg	6.2mm 2.6mm 85mg		白色・フィルムコーティング錠	
標準製剤との同等性	溶出試験(試験液：水50rpm)		生物学的同等性試験		
	 「含量が異なる経口固形製剤の生物学的同等性試験ガイドライン」の溶出試験の項に準じ試験を行った結果、ピタバスタチンCa錠1mg「FFP」は規定されたすべての溶出試験条件において溶出率の判定基準に適合し、ピタバスタチンCa錠1mg「FFP」の溶出挙動は標準製剤(錠剤、2mg)と同等であると判定された。		<p>ピタバスタチンCa錠1mg「FFP」は「含量が異なる経口固形製剤の生物学的同等性試験ガイドライン」に準じ、ピタバスタチンCa錠2mg「FFP」を標準製剤としたとき、溶出挙動は同等であると判定され、その結果、ピタバスタチンCa錠1mg「FFP」とピタバスタチンCa錠2mg「FFP」は生物学的に同等であるとみなされた。</p>		
	備考				
連絡先					